

あいち国際女性映画祭 2015

デイリーニュース vol.1 (2015/9/1)

記者会見レポート

今回で20回目を迎えた「あいち国際女性映画祭」。海外の監督や主演女優7名を含む10名のゲストが参加した記者会見とオープニングレセプションが8月31日に行われ、作品に託した思いなどを熱心に語られました。



『マルガリータで乾杯を!』 ショナリ・ボース監督

脳性麻痺の従妹と話していて、障がい者も恋愛やSEXをしたい、それには性別も関係がないのだということ気づき、偏見を乗り越えることをテーマに映画を作ろうと思いました。

『マルガリータで乾杯を!』

主演女優 カルキ・コーチリンさん

監督がモデルにした従妹に協力をしてもらい、一日中車椅子に乗って彼女と時間を過ごし、役作りしました。この役を演じられて感激しています。

『シアター・プノンペン』 ソト・クォーリーカー監督

今のカンボジア人は、悲しいこと、苦しいことが思い出されてしまうから、昔のことを話しながら、この映画で今の若者と年上の人と交流することの大切さを感じてもらえればと思います。

『シアター・プノンペン』 主演女優 マー・リネットさん

映画祭に参加することで、他の女性映画人の方たちと交流できて嬉しく思うのと同時に、貴重なチャンスを得たことに感謝しています。

『カナ 夢を織る女(ひと)』

イーダ・アニータ・キト・デル・ムンド監督

夢で神から図柄を与えられる「夢織り女」というティボリ族の伝統文化を、ティボリの女性たちに続けていく気持ちを持ってもらえればと思います。

『カナ 夢を織る女(ひと)』

主演女優 マーラ・ロペス・ヨコハマ

父の故郷徳之島は大島紬で有名で祖母と曾祖母は織物をしていたので、縁ですね。ティボリの言葉を話すのは難しかったけれど、演じられて光栄です。

『ギフト』 リンダ・ホーランド監督

捨てられた動物の救出についての話に私が大好きな「鶴の恩返し」を組み込んで映画を作りたいと思いました。この映画を通じて、人、動物、環境について考えていただきたいです。

『うるう年の少女』 天野千尋監督

2012年に短編でここに来ました。今回は若手俳優たちと合宿をしましたが、私も役者たちも映画と同じく現実と直面して、人間そのものの味がにじみ出て、リアルな作品になったと思います。

『あえかなる部屋 内藤礼と、光たち』

中村 佑子監督

内藤さんは繊細な作品を作る方で、カメラが入ることで制作ができなくなり、途中から内藤さんが出てこない作品となりました。

『蝸ノ記』 女優 原田美枝子さん

海外ゲストの作品を何本か見ましたが、男と張り合うのではなく、伸び伸びと自由に作っている女性監督に感動します。楽しみながら本気で作る女性たちが生まれ育ち熟しています。私も負けてはいられませんね。

明日の見どころ

映画祭 20 回・「北京+20」・国連創設 70 周年記念企画 **女性大使ミーティング**

「男女平等と女性のエンパワーメントが世界を変える！」 ウィルホール/13:30~16:30(予定)

インドの“裸足の大学”のドキュメンタリー「ソーラー・ママ」鑑賞後、インド大使、マケドニア大使などをお招きし、根本かおる国連広報センター所長を進行役として、男女平等についてお話していただきます。また、国連が制作した女性関連ドキュメンタリー・ショートフィルムは、映画祭期間中毎日1階で上映します。中には、映画ハリーポッターシリーズで有名なエマ・ワトソンのスピーチもあるので、お楽しみに！



NHK BS 世界のドキュメンタリー「ソーラー・ママ」

10 作品一挙上映！

「フィルム・コンペティション 短編フィルム部門」 大会議室/13:00~18:30

フィルム・コンペティション【短編フィルム部門】では、今年から審査によって選ばれる賞の他に、観客の皆さんの投票によって選ばれる「観客賞」を設けます。皆様のショートフィルムを観た感想や思いを作品に届けてみてはいかがでしょうか？招待作品も2作品あります。是非、ご覧ください。



招待作品『Reflection』

まつかわゆまの耳寄り情報

『シアター・プノンペン』10時よりウィルホールにて上映

70年代半ば、クメール・ルージュによりカンボジアの様々な文化は破壊されました。それまでは大衆娯楽の王者として盛んに作られていた映画も禁止され、映画人たちは虐殺され、フィルムは破棄されてしまいました。そんなカンボジア映画界は今も復興の途にあります。『シアター・プノンペン』（公開名。旧題『遺されたフィルム』）は、現在と過去を結び、歴史に翻弄された一本のフィルムと映画人たちの運命を、経済的発展の中で自分を見失いそうになっている女子大生が掘り起こすことになるという作品です。破壊された映画館で最終巻のない映画をかけ続ける男と、その映画の主演女優。不良と付き合う女子大生はその女優が自分の母であることに気付き、心の病を持つ母のためにこの映画に隠された悲恋を成就させようと映画のリメイクを試みます。歴史ミステリーにメロドラマと青春ドラマを盛り込みながら、意外な結末に持ち込んでいく力技にきつうならされることでしょう。

「女性の活躍、わが社のチャレンジ ショートフィルム」視聴覚ルームで毎日上映中。こちらもよろしく！

今日のプログラム

4階 ウィルホール

10:00~ 『マルガリータで乾杯を！』

*上映後トークショーあり

13:30~ 『蝸ノ記』*上映後トークショーあり

17:50~ 『ギフト』*上映後トークショーあり

3階 大会議室

10:00~ 『塹壕 143』*上映後トークショーあり

13:10~ 『I AM THE PEOPLE』

16:00~ 『茜色クラリネット』

18:30~ 『愁雨』